

発行所
 大阪市水産物卸協同組合
 大阪市福島区野田1-1-86
 大阪市中央卸売市場内
 郵便番号553-0005
 電話(6469)3900番
<http://www.suinaka.or.jp>

仕入高と前年対比

	23/04~23/05 (百万円)	(%)
通常取引	9,015	96.39
延取引	2,213	91.72
直接集荷	613	73.71
合計	11,841	94.00

第六十一回定時総会 開催!

新副理事長に出口憲一氏

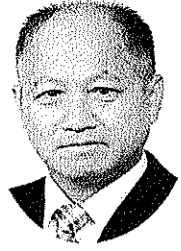
拠点市場としての役割を強化、魚食普及の推進も!

組合第六十一回通常総会は、五月二十六日(木)午後一時より業務管理棟十六階大ホールにおいて開催。

細井理事長の開会の挨拶後、木本・木畑両副理事長を議長に選出、第一号議案から第四号議案までを審議、何れも原案通り承認可決された。

細井理事長の挨拶

三月十一日午後、東日本大震災が発生、未曾有の事態となりました。この大震災で被災された方々に衷心より御見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧を祈念しております。



細井理事長

当組合では被災地救援活動のため義援金を募りました。本場の皆様から約四五万円の義援金が寄せられました。組合からの二百万円を合わせ、六五万円の義援金を通じて東北三県の漁業者団体と水産物加工団体に届けました。この席を借りまして皆様のご支援に心から感謝致します。

寄せられ、五月十一日に現地に赴き、直接お渡し致しました。

次に、昨年十一月二十八日に開催致しました第二回市民消費者感謝デーにつきましては、皆様のご協力のお蔭で成功裡に終える事ができました。

今年には本場開設八十周年を迎えます。十一月十一日に中央卸売市場本場開設八十周年記念式典が開催され、また十一月中旬以降に市民消費者感謝デーを開催する予定ですので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

市場会計は大阪市の本会計から年間約三十億円の補助を受けており、市民への感謝と共に、食育、魚離れを防ぐ為にも、PRの場として活用したいと考えております。

第九次卸売市場整備基本方針については中央卸売市場の拠点市場化と、それぞれの役割に応じた



木本副理事長

整備の推進、拠点市場と周辺市場間の効率的なネットワークを構築することが示されております。

拠点市場である大阪本場としてまた組合として、拠点市場にふさわしい役割を果たさなければならぬと考えております。

次に中央冷蔵の冷蔵庫につきまして、ご報告申し上げます。中央冷蔵は現在市場東棟側に建てております第一冷蔵庫、妙見筋側に建てております第二、第三、第五冷蔵庫で営業しており、この内第二、第三、第五冷蔵庫は中央冷蔵所有の建物ですが老朽化がひどく、耐久性にも大きな問題を抱えています。又、エレベーターのメンテナンス契約も来年二月に打ち切れ、来年三月には超低温冷蔵

空き店舗の活用につきましては、今回共同配送センターを設立、仲卸業務に寄与出来る事業をこれからも空き店舗を埋めべく引き続き努力して参ります。

組合運営について、本年度取扱いは大震災等厳しい経済情勢ではありませんが、努力目標としての一面もあり取扱高予想額八百億円の予算とさせて



出口副理事長

三六二円、通常会計別途積立金取崩一、五一八、二八四円、昨年の総会においてご承認戴きました経費負担率〇・〇六二四に基づく最終分配率で計算致しました特別分配金二億八四、七〇四、〇九四円を皆様に分配させて戴き、差引当期剰余金は五、一六八、五八七円となります。差引当期剰余金を下記の通り処分致します。出資配当金は五分の割りで総額七三二、〇〇〇円、一鑑札当たり一、五〇〇円の配当となります。法定準備金は上限である出資総額に達しておりますので本年度も積立を致しません。

特別積立金六十万円、法定繰越金三十万円、特別会計の別途積立金として一四五、一六二円、共済事業の責任準備金として三、三九一、四二五円、合計五、一六八、五八七円となり、差引当期剰余金五、一六八、五八七円と符合致します。

◎監査報告

引き続き平成二十二年度の決算について監事より処理は「正確で適正」との報告が行われた。

その後、議長が承認の有無を議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認・可決された。

「平成二十三年度(第六十二期)事業計画承認の件」

事務局より事業計画承認の後、議長が承認の有無を議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認・可決された。

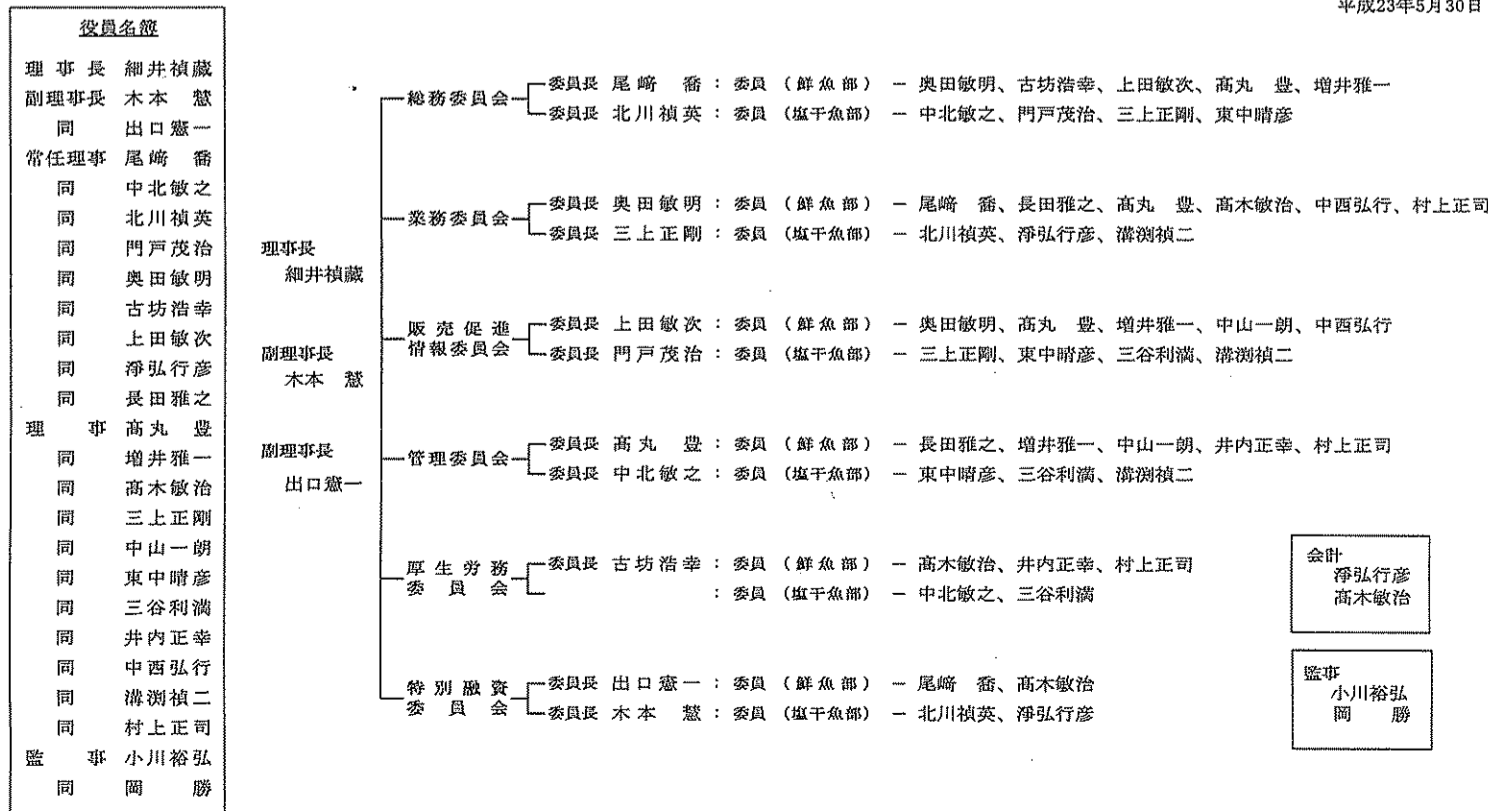
「平成二十三年度(第六十二期)事業計画承認の件」

事務局より事業計画承認の後、議長が承認の有無を議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認・可決された。

資料 A

大阪市水産物卸協同組合 分科委員会等職制表

平成23年5月30日



◎事業計画(抜粋)

わが国経済は、年初、中国を中心としたアジア向けの輸出の増加や政府による経済対策などを背景に、企業収益が改善するなど穏やかな回復基調で推移している。

しかし、年後半には政府による経済対策効果も薄れ、急激な円高の進行や欧米の景気減速、株価の低迷等により国内景気は再び踊り場局面となり、引き続き先行き不透明な状況で推移。食品業界では、長期的なデフレ傾向が続く中、依然として消費者の低価格志向が根強く、流通業界の各層で価格競争が激化しており、厳しい経営環境にある。

長期的なデフレ傾向が続く中、奇しくも平成二十三年三月十一日に発生した「東日本大震災」は漁業関係者にも甚大な被害をもたらしている。

卸売市場整備については、この程、農林水産省から平成二十七年を目途とした第九次卸売市場整備基本方針が示された。特に中央卸売市場関連では、拠点市場を位置付け、それぞれの役割に応じた

整備を推進、拠点市場と周辺市場とで効率的なネットワークを構築すること

基本方針では、①ロードチェーンシステムの確立②公正かつ効率的な取引の確保③食の安全・安心の確保④卸売市場間の機能・役割分担の明確化⑤卸売業者・仲卸業者の経営体質の強化⑥経営戦略的視点を持った市場運営等が提言されている。

特に効率的な流通ロードチェーンの拡充、実需者ニーズへの対応、エコ環境への取り組み、品揃えの充実、市民対象イベントなどや、食育を通じた日本の伝統食である魚食のPRなどが求められている。

以上を基本に、平成二十三年度の事業計画が定められた(以下省略)。

〔第三号議案〕

「平成二十三年度(第六十二期)収支予算案承認の件」

事務局より議案書に基づき予算案説明の後、尾崎総務委員長が経費負担率及び額について詳細に説明(資料B)を行った。

◎尾崎総務委員長の説明 長引くデフレの影響を受けて消費の低迷が続く

中、本年三月十一日に発生した東北地方大震災によつて有数の漁場が数多く存在する東北関東の太平洋沿岸地域が壊滅的な打撃を受けました。二ヶ月を経過した現在も復旧の目途が立っていない状況です。この影響は長期に亘って続くものと思われま

【質疑応答】 問 本年度の総取扱高は八百億円とされており、昨年八百億円の予算で実行は九十六%という事で積立金を取崩しているという現状の中で、来年度の予算案でしかも経費負担率が今年よりも増え、いくという事を考えるに、それに対する為の事業計画案を見ても具体的な策が入っていないという事で、是非とも共同精算事業のパーセンテージの改訂を積極的に進めていくべきではないかと思

答 細井理事長 築地が二〇%奨励金を削減した時に大阪も削減できないかと非公式に話が、その時は青果の理事長と一緒に、絶対に譲れないと申し上げました。おっしゃる事は分かりますが、荷受会社も厳しい経営環境で本音は下げたいと思つてはいるのですが、組合としては絶対に譲れないと申し上げています。

問 組合の大きな事業の一つが共同精算事業だと思つていますが、取扱高が減つていく中で、いわゆる固定部分の組合費も業者数が少なくなつていくと共に減つていき、これ以上経費を切り詰めるという事も非常に厳しいのではないかと思つて、是非とも、我々が量販店や百貨店にお支払しているセンターフィーとかバックマージンは平均して五%と言われているわけで、対して荷受会社から〇・四四というような事で果たしてこれで我々の商売がうまくやつていけるのかという事には非常に疑問を持たざるを得ないと思つて、荷受会社の都合もあるが、一番の解決策はやはり完納奨励金をたくさん貰う事、組合の収入をよくするという

事なので是非とも頑張つて戴きたい。 議長 ご意見ありがとうございます。 ございました。

その後、議長が承認の有無を議場に諮つたところ、全員異議なく原案通り承認・可決された。

この度の役員選挙につきまして、去る四月二十五日公示を行い、役員立候補及び推薦の届出を五月五日午後一時をもって締め切りました。この結果、立候補、推薦の届出は鮮魚部におきましては理事定数十四名のところ十四名、監事定数一名のところ一名、また塩干魚部におきましては理事定数九名のところ九名、監事定数一名のところ一名の立候補、または推薦届があり、五月七日土曜日に組合員の皆様に発表、通知致しました。

「任期満了に伴う役員改選の件」 選挙管理委員長の田浦久光氏より次のような報告が行われた。 ◎田浦選挙管理委員長の話

憲一、増井雅一、尾崎喬、上田敏次、奥田敏明、高木敏治、中西弘行、高丸豊、中山一朗、井内正幸、村上正司、以上十四名。 鮮魚部監事、岡勝、以上一名。 塩干魚部理事、木本慧、北川植英、淨弘行彦、門戸茂治、三上正剛、溝淵禎二、三谷利満、中北敏之、東中晴彦、以上九名。 塩干魚部監事、小川裕弘、以上一名。 以上でございます。

大変難しい時代に役員をお引き受け戴き、本当に有難うございます。我々組合員一同も頑張つて参りますので、この二年間、役員の皆様におかれましては、どうか我々組合員をよりよき方向へご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

総会は全議案の審議を終了、何れも原案通り承認可決され閉会した。 尚、初理事会が二十八日に行われ資料Aに記載の通り正副理事長、各分科委員会・委員長及び委員が決まった。

組合員一同も頑張つて参りますので、この二年間、役員の皆様におかれましては、どうか我々組合員をよりよき方向へご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

平成二十三年一月一日 六月二十日

組合員一同も頑張つて参りますので、この二年間、役員の皆様におかれましては、どうか我々組合員をよりよき方向へご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

25日・三市場五組合との新年懇談会 28日・納税貯蓄組合長会議 30日・予算方針委員会 31日・管理委員会 ※四月 4日・鮮魚部役員会 6日・選挙管理委員会 7日・業務委員会 8日・管理委員会 11日・定例理事会 15日・販促情報委員会(反省会) 16日・鮭の日委員会(反省会) 19日・厚生労務委員会 22日・総務委員会 23日・おさかな普及協議会総会 25日・会計監査会 26日・中冷建替問題協議会 27日・臨時理事会 28日・防火防犯交通協力会 ※五月 6日・選挙管理委員会 9日・鮮魚部役員会 13日・近畿地区連正副会長会議 16日・定例理事会 18日・総務委員会 26日・通常総会 28日・初理事会 30日・納税貯蓄組合連合会総会 ※六月 1日・納税協会定時総会 2日・大福理事会 4日・食育親子料理教室・全国連正副会長会議 6日・鮮魚部役員会 13日・定例理事会 17日・鮮魚・塩干合同業務委員会 20日・80周年記念事業委員会

6. 経費総額(及び差引き経費額)に対する各項目の金額と対象比率及び負担額

Table with columns for Year (年), Total Sales (総取扱高), Total Expenses (経費総額), and various expense categories (A-G). It includes data for 2022 and 2023 fiscal years.

Calendar of events (組合員日誌) for 2023, listing dates and activities such as meetings, seminars, and committee work.